

収れん火災について

No.1

鹿児島市内では、毎年約150件の火災が発生しています。火災の原因は数多くありますが、その中から市民の皆さんに知っていただきたい火災事例について、ご紹介いたします。
今回は、「**収れん火災**」についてです。

火災の内容

共同住宅に住む女性が、ベランダから物音がしたためカーテンを開けると、洗濯物から炎が上がっており、風呂桶などで水をかけて消火したものです。

火災の原因

原因は、「**カラス除け**」のために室外機の上に置いていた凹面鏡の「**収れん現象**」により洗濯物に着火したものでした。

火災現場の写真

【焼けた洗濯物の様子】

カラス除けの凹面鏡



【カラス除け凹面鏡を再現した様子】



収れん火災について

収れん火災とは、太陽光がレンズなどにより反射または屈折して一点に集まることで、その場所にあった燃えやすいものに火がつき発生する火災です。

特に、太陽の位置が低くなり部屋の奥まで光が差し込むようになる冬場に発生しやすいと言われており、収れん火災の原因になるものには、凹面鏡や金魚鉢、水の入ったペットボトル、水晶玉などがあります。

収れん火災を防ぐために、**外出する際はカーテンを閉めたり、光が集まるようなものを窓際に置かないように**しましょう。

